

## 市原市認知症対策連絡協議会 第11回例会議事録

日 時 平成28年(2016年)10月20日(木) 18時30分～21時00分

場 所 市原市市民会館 3階 大会議室 参加者 50名

### 1. 小沢会長挨拶

### 2. ミニ講演会『小域福祉ネットワークの取り組みについて』

市原市社会福祉協議会 福田 潤 様

塩野谷 夏基様 様

#### 1) 社会福祉法と地域福祉(活動)計画

《社会福祉法》

第109条に「社会福祉協議会」が地域福祉の推進を図ることを目的として位置付けられた。

《市原市「地域福祉計画」の特徴》

・「基本福祉圏」＝市全域、「中域福祉圏」＝支所単位、「小域福祉圏」＝概ね小学校区に区分し重層的に取り組むこととされた。

・「小域福祉圏」ごとに住民参加・住民主体による「小域ネットワーク」を設置することとされている。

《地域福祉活動計画》

・現在は第4次地域福祉活動計画で地域福祉を推進するために①ネットワークづくり、②担い手づくり、③相談体制づくり、④情報共有の場づくり、⑤市社協の基盤づくりに、重点的に取り組んでいる。

#### 2) 小域ネットワークとは

市原市地域福祉計画では、住民主体の地域福祉活動を推進するため、住民に最も身近であり、顔の見える範囲の小学校区を小域福祉圏と位置付け、地域社会の総意を結集するために、地域住民、町会・自治会、NPO、ボランティア、民生児童委員、PTA、子供会、老人クラブ、福祉施設、学校、商店会、医療機関など幅広い組織・団体・個人を繋ぎその地域での生活課題、必要な支援を話し合い、課題解決に向けた取り組みを進めている。

具体的に…地域福祉推進の広報・啓発、見守り・声かけ・訪問活動、災害時の避難・安全確保・生活支援対策、世代間交流の場、子育て支援、高齢者の交流の場、軽作業援助活動 等を行っている

小域ネットワークの活動は、一部の方だけで取り組むのではなく、地域住民が当事者として参加する事が望ましく今後のネットワーク作りを進めていくにあたり皆の理解と協力を得ていきたい。

3. ふれあい買物ツアーについて (辰巳萬緑園 小出 氏)  
辰巳台地区社会福祉協議会の日常生活支援事業「ふれあい買物ツアー」を実施。  
社会福祉法人琢心会デイサービスたつみの森…車両・運転手を提供  
たすけあいねこの手…コーディネーター・添乗員を提供  
条件を満たしている方のみ利用可能。
  
4. 市民参加の市認協 (小沢会長)  
現在、各プロジェクトに別れ活発な意見や提案がなされ、総会や例会に於いても講演などを行い、活動が増えてきている中で市民に広く伝わっていない所がある。もっと市民に啓蒙活動を行い参加してもらえるようにしていきたい。来年度の総会及び講演会を市民に開かれたかたちで参加してもらえる様に考え、例えばフェスティバル形式で行ってはどうか。今後新たなプロジェクトチームを作り実現に向けた取り組みを提案し行っていく。
  
5. プロジェクト予算申請の件について (事務局 安田 氏)  
各プロジェクトから提出のあった申請書の内容を役員で検討した結果、1 件の申請となった。新規プロジェクトの物忘れ対処法冊子 (以前から有った物) の改訂版を作成する内容で申請書を市に提出する。
  
6. 各プロジェクトに別れ検討
  - 1) 他職種連携
    - ・ちーき会や かさね研修 等の参加を行い他職種との関係づくりを行う。
    - ・参加した研修の報告と今後の研修予定の情報交換を行う。
    - ・認知症の支援者向けの窓口一覧を作成していく。
  - 2) 若年性認知症
    - ・家族の会はなみずきがH29年9月3日 YOU ホールで若年性認知症の方のフォーラムを行う。開催にあたり協力を行う。
    - ・来年度、他職種連携について板橋の若年性認知症の方を講師で依頼する案がでた。
    - ・進行性失語交流会 (家族向け) 11/5 (土) 11時~13時カフェかさねで行う。今後定期的に交流会を行い企画を立て本人参加が出来る様にしたい。
    - ・若年性認知症に於けるニーズを出し話し合う。
  - 3) 認知症サポーターの活動推進
    - ・認知症サポーター養成講座の受講者には複数回受講された方もいるが知識を深めるうえで良い。
    - ・キャラバンメイトの資格を取っても活動の場が、なかなか広がらず難しさがある。

- ・オレンジリングが活用されていないため着用の促しが必要、また複数回の受講には特権があると良いのではないか。
- 4) 在宅介護者を支えるマニュアル作成
    - ・エンディングノート作成中の内容を深めた。
    - ・在宅介護になり得る若い世代（学生）を市認協に巻き込む方法を検討する。
  - 5) 認知症スクリーニング
    - ・スクリーニングシートの書式や方向性を検討する。
    - ・早期発見のスクリーニングをイベント等で他プロジェクトと協力して行う検討をする。
  - 6) 服薬支援ネットワーク
    - ・包括支援センターと協力して、お薬手帳の活用、薬に関するアンケートを行っている。今後も継続して行い、その内容を分析していく。
  - 7) 送迎
    - ・H28年11月から試験的に辰巳地区で買い物支援を地区社協と協力して始める。
  - 8) パソコン及び家電支援隊
    - ・予算確保が難しく整備しながら広げて行きたい。
  - 9) 新規プロジェクト検討
    - ・物忘れ対処法冊子の改訂版の作成を進める。
    - ・認知症宣言の内容を検討していく。
  - 10) 研修会・総会
    - ・次回総会は、ちばケアフェスタを参考に市認協の総会に活かして行けるように検討を行う。

## 7. お知らせ

- ・11月 スカイプ居酒屋、詳細は後日メール配信にて。
- ・11/26、12/3 市民活動センターにてインターネット講習会。
- ・12/25(日) 認知症他職種協働研修、詳細は市認協のホームページで後日お知らせ。
- ・H29 1/9(月) 在宅介護「医療・介護」連携推進研修
- ・次回、例会 H29 1/26(木) 市民会館
- ・次回、総会 H29 4/16(日) YOU ホール